

中東情勢の現状と行方
～資源エネルギー・金融の動向を左右する大国間パワーゲーム～

イスラム圏担当：佐々木良昭主任研究員

<課題・関心事項> ※箇条書き 目安 3～5 件程度

- ① イラクの米との長期治安協定 (SOFA)
- ② エジプトの物価推移と国内不安
- ③ トルコの憲法裁判所と AKP の対立
- ④ イランとアメリカの対立
- ⑤ シリア・イスラエルの和平交渉

<解説>

■ 上記①イラクの米との長期治安協定 (SOFA) について

今アメリカはイラクでの軍の駐留を、日本などと同じような長期的なものにしようと考え、具体的な段階に入っている。しかし、イラク国民の間ではこの合意に反対する者が多く、マリーキー首相は苦しい立場に立たされている。今後この合意をめぐり、イラク国内ではどのような動きが起こってくるのか。

■ 上記②エジプトの物価推移と国内不安について

エジプトでは世界的な穀物相場の上昇を受け食料品の価格が暴騰している。このためエジプト国民は苦しい状況に追い込まれているが、いままでの段階では国民の政府に対する行動は抑制されている。果たして今後エジプト国内ではどのような状況が起こってくるのだろうか。政府の締め付けと、問題解決への対応とのどちらが先になっていくのか、エジプト国内はいま不安定な状態にある。